

第34号  
毎月発行

# 結いの会 会報

2013年11月22日発行

発行者 特定非営利活動法人 結いの会  
〒907-0024 沖縄県石垣市字新川 2138-5  
就労継続支援事業所 いこいの家  
〒907-0022 沖縄県石垣市字大川 1243-1  
電話 (Fax) 0980-84-1636 携帯 090-8293-9462  
ホームページ <http://ikoi.xii.jp/>  
メールアドレス [yuinokai@mco.ne.jp](mailto:yuinokai@mco.ne.jp)

## 妹に感謝

—精神保健福祉普及月間に寄せて—

利用者の広場

朝目覚めた時、すぐには体を起こす事が出来ず、両膝に手を当てないと起き上がれない日がありました。「食事をしよう」と言われると「いらない」と返事をしました。「どうして」と聞かれ「断食をするから」と妹を困らせた日もありました。「病院へ行こう」と言われると、「薬を飲むと病気になるから行かない」と返事をした日もあった様です。「医者信じてみよう」と言われ、妹の付添で病院へ通いました。話をしてもその場その時だけは返事出来るのですが、三分もたつと何の話をしていたのか忘れていました。通院を始めて、1年6ヶ月過ぎた頃「自分一人で大丈夫だから行ってみる」と話して一人で病院へ行ける様になりました。でも困った時には妹に相談をして、一緒に病院へ行ってもらっています。顔がふっくらしていると「むくんでいるのかな、太ったのかな」と妹は心配してくれます。

この頃は食べ過ぎや、お茶やコーヒーの飲み過ぎかなと思う事があり自分で食生活に注意をするようになりました。薬の飲み忘れが多かったのですが、妹に言われて薬のカレンダーを使用する事で飲み忘れがなくなりました。

それから、妹は日記を書く事を勧めてくれ、書き続けていると失敗が少なくなり翌日の予定はメモをしてテーブルの上に置いています。

部屋の中だけではいけないと考えて、産業祭り、星祭り、北海道フェアなどへも行きました。又市民会館へ「バレーの発表会」を観に行ったり、私が紡いだ「苧麻」の展示を見に行ったり、夏はビーチへ行ったり、ドライブしたりと、妹はいろんな所へ誘ってくれます。

たくさんの失敗もありましたが、妹はいつも大きな心で受け止めてくれ、私は以前よりは前向きで素直になりました。

少しずつ自立に向かって行けるように、努力をしたいと思っています。

A. K

## 石垣島 一周バスツアー

十一月五日、精神保健福祉普及月間事業の一環として、恒例のいこいの家主催によるバスツアーが行われました。始めに農林水産業研究センターを見学。センターでは亜熱帯の果樹や珍しい植物を研究栽培しており、職員の方に説明してもらいました。利用者のTさんの専門的な質問に職員の方が驚き感心する場面もありました。

玉取崎の展望台で昼食を取り、散策や事業所同士の交流を楽しみました。車中ではバスガイドさんの愉快なトークやクイズや歌で盛り上がり、あつという間に底地ビーチに到着、笑顔で写真撮影後、帰路につきました。今年も又会えて、一緒にツアーに参加できて良かったね、の声に皆も笑顔になりました。

又吉美紀子

### やらぶの会(家族会)定例会のお話

八重山精神療養者家族会は、毎月第3火曜日3:30分よりサポートセンターどりいむで定例会を行っています。同じ悩みを持つ家族同士で話してみませんか。初めての方もお気軽にご参加ください。連絡(090-8293-9462大瀨)

### 結いの会 会員募集

結の会では、会員を募集しております。当会の趣旨にぜひ賛同下さり、支援をお願いします

- 会費 ◎正会員 年会費 個人一口 1,000円 団体一口 5,000円  
◎賛助会員 年会費 個人一口 500円 団体一口 3,000円
- 振込先 ①琉球銀行 八重山支店 普通 784827  
口座名義：(特非) 結いの会 理事 大瀨守哲  
②郵便振替：01720-4-87156  
口座名義：トクビ) ユイノカイ